

# 令和4年度 新潟県多面的機能支払制度研修会

## 取組の継続

- ・多面的機能支払交付金とSDGs
- ・事例発表「多様な主体の参画」等

**日時** 3月23日（木）

13:30～16:20

開場12:30～

**会場**

**新潟テルサ多目的ホール**

（新潟市中央区鐘木185-18）

定員：1000名程度

参加申し込みは  
ご在住の市町村へ

上記会場での開催と併せて**Zoom**によるライブ配信

定員：無制限

13:40～

- 講演／多面的機能支払制度取組の実施状況と  
今後の展開について

松本 勉 氏（農林水産省農村振興局農地資源課多面的機能支払推進室長）

14:20～

- 講演／SDGsに関する県内の取組

中村 茂 氏（一般社団法人地域創生プラットフォーム事務局「SDGsにいがた」）

15:10～

- 新潟県からの情報提供

新潟県農地部農村環境課

- 事例発表

池谷入山多面的機能組合

刈羽村役場

上川西農地・水・環境保全広域協定

## ● 会場案内図



・新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底した上で、開催します。

・感染拡大の状況により、開催方法の変更や中止となる場合があります。

・農地維持活動の活動項目「事務・組織運営等に関する研修」として参加可能です。



■主催 新潟県

■共催 多面的機能支払交付金新潟県推進組織

【お問合せ先】新潟県農地部農村環境課 電話：025-280-5369

## ● SDGsと多面的機能支払の関わり

持続可能な開発目標（以下「SDGs」という。）は、持続可能な世界を目指す国際目標です。一方、多面的機能支払交付金は、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある中、地域資源の適切な保全管理を推進するなど、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に資する各種の取組が地域住民による共同活動により営まれ、良好な地域社会の維持及び形成に重要な役割を果たすものです。

SDGsと本交付金の活動目標は、持続可能な社会を目指す点において共通しており、親和性が高いものと考えられます。



出典：農林水産省ホームページ「SDGs（持続可能な開発目標）×多面的機能支払交付金」

## ● 出演者プロフィール

**講演 中村 茂氏**（一般社団法人地域創生プラットフォームSDGsにいがた事務局）

2030年までの国際的な目標「SDGs」は、すべての人が健康で豊かになるために設けられました。その理念を企業活動や地域づくり、市民生活に取り入れることによって、地域の経済、社会、環境に、よりよい好循環が生まれると期待されています。

わたしたちの、地域創生プラットフォーム

**SDGsにいがた**

2020年に新潟県内でそうした動きを促進する地域創生プラットフォーム「SDGsにいがた」が発足されました。

「SDGsにいがた」はSDGs関連情報を発信し、企業、自治体、教育・研究機関、各種団体、地域のネットワークを広げ、セミナーを実施しながら、それぞれがそれぞれのSDGs課題に取り組めるよう後押ししています。

### 事例発表

取組を継続していくためのヒントとなるようなテーマを発表

- ・ 池谷入山多面的機能組合(十日町市) 「多様な主体の参画」
- ・ 刈羽村役場 「組織の広域化」
- ・ 上川西農地・水・環境保全広域協定(長岡市) 「組織の体制強化」

